

# NEWS INFORMATION TOPICS COMMUNICATION

# NEWS

## 長崎県日中親善協議会

第  
**61**  
卷

発行/2007(平成19年)7.4  
長崎県日中親善協議会



とう あん くん  
**滕安軍**

## 中華人民共和国駐長崎総領事 着任

2007(平成19年)3月20日付



# 滕安軍 (とうあんぐん)

## 新中華人民共和国駐長崎総領事 着任



第7代目の総領事（平成19年3月20日付）

### 略歴

氏名：滕安軍（とうあんぐん）  
 生年月日：1955年1月（52歳）  
 出身地：山東省  
 主要経歴  
 1977-1983年 中華人民共和国外交部  
 アジア司科員、随員  
 1983-1987年 駐日本国大使館随員、  
 三等秘書官  
 1987-1990年 外交部アジア司三等秘  
 書官、二等秘書官  
 1990-1994年 駐大阪総領事一等秘書  
 官、領事  
 1994-1996年 外交部アジア司一等秘  
 書官、副処長  
 1996-2001年 駐大阪総領事館副総領  
 事  
 2001-2003年 外交部アジア司参事官  
 2003-2007年 駐日本国大使館参事官  
 2007年3月20日付着任 駐長崎総領事

### 歴代総領事在任歴

王振宇 (おうしんう)	初代総領事	85年5月～88年9月（3年5月）
顔萬榮 (がんまんえい)	第2代総領事	88年11月～92年3月（3年5月）
孫平 (そんへい)	第3代総領事	92年12月～96年1月（3年2月）
曾文彬 (そぶんひん)	第4代総領事	96年2月～99年2月（3年1月）
張煥忠 (ちやうかんちゆう)	第5代目総領事	99年4月～02年5月（3年2月）
王昆 (おうこん)	第6代目総領事	02年6月～07年2月（4年8月）



## 王昆 (おうこん) 中華人民共和国駐長崎総領事館総領事離任

2002年（平成14年）6月1日に第6代目の中華人民共和  
 国駐長崎総領事として着任された王昆総領事は、4  
 年8ヶ月の在任中長崎県と中国との友好交流にご尽力さ  
 れ、また、同時期に赴任されました胡人歴領事と一緒  
 に2007年（平成19年）2月15日に離任されました。胡人  
 歴領事からは、本場中国の「水餃子」の作り方を教え  
 ていただくなど当協議会はいつもお世話になっておりま  
 した。王昆総領事、胡人歴領事のお二人に対しまして  
 この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

## 第10回長崎県日中親善協議会中国語研修訪中団

### 大連・旅順

当協議会の中国語講座受講生を中心に26名で  
 中国語研修訪中団を組織し、3月9日(金)～12日  
 (月)の3泊4日の日程で大連市と旅順市を訪問い  
 たしました。大連の街は、長崎と同じような路  
 面電車が街中をはしり、山があり、海があり、  
 まるで長崎にいるようでした。食べ物もとても

おいしく団  
 員の皆さん  
 はご満悦で

した。大連国際書香怡養院では、中国語の授業の  
 ほか、太極拳の現地指導も受けることができ、充  
 実した研修訪中でした。



## 中国語講座閉講式・開講式



（長崎会場）陳華先生

平成18年度の中国語講座（長崎会場）閉講式を、3月22日出  
 島交流会館2階研修室で行いました。修了者69名の方々に王  
 冬先生から修了証書と記念品が手渡されました。\*佐世保会  
 場の講座の閉講式は3月20日佐世保中央公民館にて行われました。  
 王冬先生は、料理上手でその中でも、水餃子は皆さんに大  
 変好評でした。北京の戦場にもどられ、北京オリンピックを目  
 前に忙しい日々になると思いますが、お体には十分気をつけて頑張ってくださいと思います。

平成19年度の中国語講座（長崎会場）は、5月14日からスタートいたしました。今年度の講師は、福  
 建省出身で長崎大学大学院の陳華（ちんか）先生です。



（佐世保会場）趙麗先生

また佐世保会場の講座の講師は南京市出身で長崎国際大学にお勤めの  
 趙麗（ちょうれい）先生で  
 す。どうぞよろしくお願  
 いいたします。

講座はすでに始まってお  
 りますが、初級（基礎）、中  
 ・上級クラスは随時入講でき  
 ますので、まずは見学希望とい  
 うことでご連絡下さい。お待  
 ちしております。





# 第27回長崎県中国語コンクール

平成19年3月18日(日)、長崎市出島町の長崎県美術館2階ホールで第27回目の中国語コンクールを開催いたしました。

本コンクールは、1979年に長崎—上海間定期航空路開設記念「長崎県中国語弁論大会」として始まり以後毎年開催しております。今回で参加者数は、延べ881名になりました。今年も、17歳から82歳までの16人が初級と上級に分かれて出場

されました。アトラクションとして、受講生の皆様に中国語での合唱を長崎大学の廖明智様に飄箏笛と歌をそれぞれ披露していただきました。

厳正な審査の結果、入賞者は、次の方々決定いたしました。

## 第27回 長崎県中国語 コンクール 入賞者

- 最優秀賞 初級 平山 亜紀子 (公務員・長崎市)
- 上級 福島 彩子 (大学生・長崎市)
- 優秀賞 初級 和田 秋奈 (大学生・西彼杵郡)
- 上級 深木 浩一 (大学生・長崎市)
- 特別賞 植田 巨一 (無職・長崎市)
- 努力賞 初級 藤澤 えみ (大学生・諫早市)
- 上級 中村 正己 (無職・長崎市)



# 長崎上海線利用促進助成金のお知らせ

(財)長崎県地域振興航空基金では、長崎上海線の利用を支援するため、下記の助成金制度を実施いたしますので、お知らせします。

## 「交流等助成金」

この助成金は、上海線のリピーターを増やすため、今後も利用のお気持ちがある6人以上の団体旅行(手配旅行)を対象に、旅行代理店へ交付いたします。助成金は、皆様方の旅行代金の値下げとなって皆様方へ還元される仕組みとなっております。

- 対象期間** 平成19年4月～平成20年3月
- 対象経費** 交流費(商談会、見本市、講習会等の会場借上料)
- 国内交通費(長崎空港への貸し切りバス・ジャンボタクシー代等)
- 現地交通費(バス代、ジャンボタクシー代、リニアモーターカー料金)
- 通訳・ガイド料、上海浦東空港空港税
- 対象路線** 長崎—上海間の定期航空路線
- 乗り継ぎ先事例** 香港・シンガポール・クアラルンプール・バンコク・プーケット・シドニー・メルボルン・バンクーバー・パリ・ロンドン・モスクワ・フランクフルト・モルディブ・ヨハネスブルグ
- 申し込み方法** 各旅行代理店へおたずね下さい。

## 助成額

利用グループ(人)	往復利用の助成額(円)	片道利用の助成額(円)
6～9人	15,000	7,500
10～19	30,000	15,000
20～29	60,000	30,000
30～39	120,000	60,000
40～49	160,000	80,000
50人以上	200,000	100,000

なお、本路線で上海浦東空港経由で、中国以外の国(香港を含む)へ乗り継いで旅行をする場合は、助成額が2倍になります。

詳しいことは、下記の基金事業課、もしくは旅行代理店へお問い合わせください。  
財長崎県地域振興航空基金事業課(長崎県地域振興部交通政策課)  
TEL 095-895-2063

# 中国卓球選手団来崎35周年を記念して

## 「古いラケットの思い出と共に」

なかむらまさみ  
中村正己

長崎県にとって日中友好の夜明けでもあった、中国卓球選手団の来崎記念の印しとして、大切に保存してきた古いラケットを手にしながら、30年を越える時をさかのぼり、切れ切りの記憶を手繰り寄せて思い出の一文を綴ることになりました。

日中国交正常化後の1974年7月、日中友好協会の推薦で「九州地方労働者職員訪中団」の一員として、東北部の工業地帯を中心に中国各地を訪問したことが病み付きになり、中国の歴史や文化に憧れ、機会があれば中国の名所旧跡を旅したいと思う気持ちは昂ぶるばかりでした。

その後訪中の機会に恵まれず、1985年になって、長崎空港からハルビンへの臨時直行便を利用した団体旅行で、やっと2回目の中国旅行が実現できました。

中国への関心を高めた最初のきっかけは、なんとと言っても1972年5月、長崎を訪問した中国卓球選手団の受入準備の裏方を務めたことでした。

当時勤務していた果通商運輸課から選任された、4名の内の一人としてこれに従事しました。失敗は許されないと肝に銘じて各自の責任分担を決め、万全を期すことになり、夜遅くまでの仕事がかかりの期間続きました。

国交正常化前で情報が少なく限られており、文化の違いから礼を失しないような配慮など、長崎華僑総会の役員を始め会員の方々には言語に尽くせぬご支援を頂き準備を進めました。

これまで、長崎華僑総会の方々や長崎地区労働組合などでは毎年新年友好交流会を開催していたので、顔見知りの方が多く心強く感じました。

選手団歓迎の旗は、過去に生じた国旗事件の事例を検討して、妨害を避けるために白地の中央に日本と中国の国旗を並べ、その上段には「熱烈歓迎」の四文字。下段には急遽立ち上げた「長崎県日中親善協議会」の文字が染められました。

選手団が長崎滞在中は、私は選手団と行動を共にしながら、事務局との連絡役でしたが、選手団の行動日程は休憩時間も練習時間も無いほど各方面との友好交流がぎっしり組まれており、慣れない土地での疲れにも係わらず笑顔を絶やさず接していた姿には感激させられました。

練習の為に近くに体育館があれば借りたいとの急な話の時は少々慌てましたが、丸尾中学校にお願いして、授業に支障が無いようにと体育館を借りました。ところが当日学校

からは練習の邪魔にならないようにするから、生徒に見学させて欲しいとの申し出がありました。

団長も大変喜び、選手団の練習は早々に切り上げて、多くの時間は卓球クラブの生徒全員が世界トップの選手の胸を借りての練習に費やしました。団長も自ら一人ひとりに手取り足取りの指導に当りました。生徒にとっては一生忘れられない出来事になったことでしょう。

選手団が長崎を離れる朝の食後に、華僑総会の方々への記念にサイン会が予定されていました。広間のテーブルの上に色紙等が並べられ、選手団がテーブルを回りながらサインをしました。幸い私も勧められ裏が板のラケットを買って求めている状態でした。

それから30数年経ち、私は今では軽い仕事に従事しながら一方では中国旅行を楽しんでいます。更に中国の人々と直接会話が出来ることを願って、七十の手習いと冷やかされますが、中国語会話を学んでいます。先生の厳しい発音練習と受講生仲間の熱心な学習意欲に引きずられて、中級クラスにやっと乗り付いている状況です。

日頃の中国語学習の成果を試すために、当親善協議会主催の中国語コンクールに参加を申込んだ時、事務局の方から親善協議会設立の端緒となった卓球選手団関係の資料が少なく、当時の事情を知る人を探しているとの事を耳にしました。

それならば、私が宝物同様に保存している全選手のサイン入りラケット等が役に立てば、寄贈しても宜しいですよと約束したところでした。

限られた字数の記事で言葉足らずや、記憶違いがあるのではと心配ですが、ラケットのサインを眺めていると私自身の30数年の日中友好の思い出が、走馬灯のように頭の中をよぎります。

中国卓球選手団が長崎訪問以来今年で35年の歳月が流れ、日中友好の姿も急激な経済成長の時代と共に、経済本位への移ろいを感じさせられます。人と人との信頼を基にした友好交流が大切だと、日中友好の先頭に立って頑張られた久保知事を始め、選手団の訪問に関わり日中友好の為に活躍された先輩諸氏も多くが去られました。

北京オリンピック、上海万博の準備で大きく変貌し、経済発展の著しい中国の現状には彼岸から驚きの眼で眺められていることでしょう。

私も訪中の度に時の流れをひしひしと感じ、急激な経済発展に伴って生じ易い環境問題では、日本の轡を踏むことが無いように祈りたい気持ちです。

長崎県と友好都市の上海を基点にすれば、最短距離の日本は長崎です。上海から中国各地への乗り継ぎも便利になった現在、中国東方航空を利用すると国内旅行と変らぬ気分が中国旅行が出来た時代になりました。往來の増加が、更なる日中友好の輪の広がりの一翼になることを祈念しています。



プロフィール 中村正己 74歳  
1953 (S28) 年10月 銀行就職  
1983 (H5) 年3月 定年退職  
現任 株式会社ビジネス・フロンティア代表取締役  
ながさき社会福祉センターの中国語会話教室で受講中  
日中親善協議会主催中国語コンクール出場  
第22回 初級部門 努力賞受賞  
第27回 上級部門 努力賞受賞



S49, 1月15日発行 日中親善 創刊号より



## 長崎で頑張ります

中華人民共和国外交部アジア司日本処職員  
李 偉

忙しく仕事を続ける日々をしばらく休んで、留学生活を始めた私は、長崎にきてちょうど1ヶ月になります。県国際課や長崎県日中親善協議会及び県立長崎シーボルト大学の先生方に温かいおもてなしをいただき心から感謝しています。

4月に長崎に来た時、目に映ったのはいっぱいの緑と満開の桜でした。東京とは違って長崎は静かなところ。新鮮な空気を吸って、人々の優しい笑顔を見て、すぐ長崎のことが好きになり、長崎の綺麗さを楽しんでいます。

長崎には日本鎖国時代に唯一の対外窓口として盛んな時期もあり、原爆のつらい思い出もあります。独自の歴史と文化を持つ魅力的な長崎は、中国にとっても特別な都市であり、従来の友好関係があります。ここで留学できることはとても珍しいチャンスであり、1年間の生活を大切に、豊かな留学生活を送ろうと思っています。

長年の友好の歴史の関係もあり、有利な地理的な条件もあり、長崎と中国の間には、たくさんの分野における交流が盛んに行われています。長崎の人々は中国にとっても友好的な感情を持っていることに、私は大変感動しました。しかしながら、たくさんの人は中国のことがあまり分からないところにも気づ

きました。今でも中国のことを「中華民国」と呼んでいる人もいますし、中国の政策が20年前とあまり変わらないと思っている人もいます。友好関係の発展には、相互理解と信頼という基礎が必要なので、長崎の皆さんも福建省や上海ばかりではなく、中国のたくさんのところに来て、自分の目で激しい変化を続けている中国を認識していただきたいと思います。1ヶ月はあっという間に過ぎたようですが、たくさんのことも経験しました。地方選挙が行われ、長崎市の伊藤一長前市長が選挙中に銃撃された事件もありました。この事件に対し、市民たちの怒りや平和を追求する強い意志を感じ取って、誠に感動しました。

平和的な発展を遂げ、国民の生活レベルを向上させることは、日本政府にとっても中国政府にとっても同じく最大の課題と任務であります。中日両国は手を携え、ウインウインの関係を構築し、共同发展を求めていくのが両国の共通利益に合致するものであります。どの都市よりも平和を愛する長崎は、中日友好関係の発展によりいっそうの役割を果たすことを心から期待しています。

1年間の留学を通じて、学校で専門知識を勉強すると同時に、たくさんの人とコミュニケーションし、日本のことをさらに理解し、中国のことも皆さんに紹介し、相互理解を深めようと思います。長崎で見たこと、聞いたこと、学んだことを将来仕事に生かして、長崎と中国の友好関係、それに中日友好関係を発展させるために頑張りたいと思います。

皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

## 暖かい「太陽」

長崎県立西高等学校1年  
李 芳芷

2005年1月に私は父が在長崎中国総領事館に着任したおかげで、中国東北地方の都市「瀋陽」から長崎に来ました。来る前に父が「長崎はとてもいい町だよ」と教えてくれました。そういう気持ちを抱えながら飛行機から降りた瞬間、すぐ目の前の青々とした緑の山々と海に惹かれ、確かにその「美しさ」を実感しました。その時、まだ真冬でしたが、意外



にも長崎の太陽をすごく暖かく感じました。

実をいいますと、中国と日本は歴史上、戦争の時期があったことを知っていました。それに直接日本人と付き合ったことがないので、日本人に対するイメージが冷たくて情けがないなど思っていた故、とても不安でした。日本語がわからないまま、着いてからすぐ長崎市立山里中学校1年に編入されることになりました。複雑な気持ちで、はじめてクラスメイトと担任の前で3日間もかかって練習した自己紹介を下手な日本語で言いました。練習のときには、まだ流暢だと思っていた私は緊張のあまり、声が震えました。どんな反応をするだろうか、必ず笑われると思ったとたん、みんなとても暖かい拍手をしてくれました。そのときから、私は日本人に対するイメージが変わり始めました。

その後、クラスメイトに次々と話しかけられました。なんとなく、簡単な英語で喋ることになりました。日本語がわからなくても、みんなの親切な対応で心が通じるようになりました。もともと私は性格が明るい方なので、だんだんみんなと仲良くなり、たくさんの友達ができました。わからないことがあったら、みんなすぐ熱心に教えてくれました。私はとても楽しい毎日を過ごしました。

学校体育大会にも2回参加できました。クラス全体の努力によってクラスは入賞して、とても興奮しました。みんな一緒に雨の中でもほかのクラスに負けないように一生懸命練習した賜物です。そのとき私は放送部だったので、体育大会の放送も担当させていただきました。先生たちの励ましで放送内容を

うんと覚えて、がんばりました。

一番に残ったのは修学旅行です。みんなと一緒に歴史の街である京都、奈良を見物して、東大寺、金閣寺など、その美しさに感動し、大阪のUSJを楽しんで、夢中になりました。福岡で「美女と野獣」という劇を鑑賞したり、博物館を見学したりみんなと一緒に助け合ったりしてとても楽しい3日間を過ごしました。毎回写真を見るたびにまた笑えるくらい楽しかったです。中学校時代、日本語の通じない私は先生たちが放課後国語を補習してくださったおかげで、日本語能力試験1級に合格しました。卓球部活や合唱コンクールと職場体験など教科書以外の活動をたくさん体験したことを通じて日本をだんだん理解しました。勉強の上、ちょっと進歩したとは言え、先生たちと周りの人々が支えてくれたのです。みんなは本当にいろんなことを教えてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。ここで山里中の先生たちに「ありがとうございました」というほかはありません。

今、長崎県立西高等学校の1年生となりました。中学校のみんなと別れることになるのはとても辛い事でしたけど、高校でいろんな新しい人と出会えるのはとても楽しいです。もっといっぱい友達を作るのを楽しんでいます。勉強もきつくなりましたが、みんな一生懸命がんばっている姿を見て私もやる気が出ました。あきらめようと思ったとき、みんなが支えてくれました。

日本に来たばかりの私はすっかり変わりました。日本を大好きになりました。私の第二故郷だと思えるぐらい好きです。日本にいる時間は限られておりますが、楽しく過ごしたいと思います。中国へ帰っても日本での生活もずっと私の記憶の中に太陽のように暖かくずっと輝くでしょう。



平成19年4月6日(金)



# 第34回中国人墓地清掃協力のお願い



今年も9月23日(日)に稻佐悟真寺国際墓地内にある中国人墓地の清掃を行う予定です。毎年多くのボランティアの方々にお手伝いをいただいている中国人墓地清掃ですが、墓地敷地面積が広い上、刈り取った草などを運ぶのが毎年大変な作業になっています。体力に自信があるボランティアの方々にお手伝いいただければと思います。

どうぞご協力をお願いいたします。

事務局 担当 大坪優子 095-832-2878

HAGASAKI PARK SIDE HOTEL

ビアバイキング  
**Beer Viking**

好評開催中! 10/31(水)まで  
17:30~21:00 (当日は開始時刻は異なりますので、ご予約必ずお願いいたします。)  
【会場】 レストラン・オルタンシア エコホテル長崎のいづれかになります。

当日料金  
大人前売券 3,000円(税別)  
絶賛発売中

当日料金  
C位 1,200円 C位 1,000円  
C位以下: 自席  
C位以下: 1,800円

飲み放題  
飲み放題  
飲み放題

生ビール・ワイン(赤・白)  
果実酒・酎ハイ(焼酎・蒸留酒)  
オレンジジュース・ウーロン茶

長崎パークサイドホテル ご予約・お問い合わせ  
NAGASAKI PARK SIDE HOTEL TEL 095(845)3191 原簿資料館隣り

長崎 月曜日 金曜日 上海 (浦東空港)

13:15発 →(MU520便)→ 13:50着  
12:25着 ←(MU519便)← 9:55発  
(すべて現地時間での表示)

中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは  
〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル4階  
TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539

原稿作成から完成まで、  
経験豊かなスタッフが  
あなたの“本づくり”を  
しっかりとサポート!

ココ

Yururi  
Heartful salon

“本づくり”に関するお祝い会  
本づくり Heartful salon  
〒850-0875 長崎市安町8-23 昭和堂ビル  
TEL (095) 828-1790 FAX (095) 823-8740

株式会社 昭和堂

本社 長崎市出島町2-11 TEL (095) 832-2878 FAX (095) 832-2881  
メールアドレス 書記 大坪優子 china-inquiry@nia.or.jp

事務局紹介

専務理事	(地域振興部政策監)	多門 勝良
事務局長	(地域振興部 国際課課長)	杉光 正弘
事務局次長	(地域振興部 国際課総括課長補佐)	山田 健
	(副長崎県国際交流協会 常務理事兼事務局長)	平田 信秀
事務局書記	(地域振興部 国際課課長補佐)	稲田 栄司
	(地域振興部 国際課係長)	上杉 裕之
	(地域振興部 国際課主任主事)	谷村 重則
	(地域振興部 国際課主任主事)	宮本浩次郎
	(長崎県日中親善協議会 書記)	大坪 優子